

年度	問題文	テーマのキーワード 要因1	なぜこの問題が出題されたか。出題者の意図 要因2 確かめたい技術者コンピテン	背景にあるねらい 要因3 問題を難しくしてプロの力を引き出すためのビジネス課題	国の動き、指針、法の施行など 要因4 法改正、指針、政府の動き	出題の意図から予想される類題
平成24年度	I-2-4 平成13年に「舗装の構造に関する技術基準」が出され、舗装に関する技術基準類は原則として性能規定化された。この性能規定化について以下の問いに答えよ。 (1) 性能規定化の背景及び意義を説明せよ。 (2) 性能規定化に関する取り組みについて、現状と課題を述べよ。 (3) (2)で挙げた課題に対する対策について、あなたの意見を述べよ。	舗装の構造に関する技術基準、性能規定化	性能規定化に関する見識、性能規定化を推進していくための提案能力	舗装整備の効率的・効率的な推進、舗装に対する要求の多様化、道路利用者の視点に立った舗装整備	規制改革推進3カ年計画（平成13年3月）、道路構造令の改正（平成13年4月公布）、舗装の構造に関する技術基準の制定（平成13年6月）	舗装の性能規定化の背景・意義を述べるとともに、車道及び側帯の舗装が有すべき性能について、その具体的な指標を3つ挙げ、それぞれについて現状と課題を述べよ。また、課題に対する今後のあり方について、あなたの意見を述べよ。
平成23年度	I-2-4 舗装工事における他産業再生資材を2つ挙げ、それぞれについて再生利用の現状と課題を説明せよ。また、舗装工事における他産業再生資材の活用に関する今後のあり方について、あなたの意見を述べよ。	他産業再生資材、道路舗装リサイクル	道路舗装のリサイクルに関する見識、再生利用推進のための提案能力	循環型社会への貢献、環境負荷の少ない社会の実現	舗装の構造に関する技術基準の制定（平成13年6月）、舗装再生便覧（平成22年11月）	現在、アスファルトコンクリート塊のリサイクル率はほぼ100%であるが、今後は、再生加熱アスファルト混合物への使用率を高めるなどの質的な向上が必要である。この状況を踏まえ、道路舗装のリサイクルの現状と課題を述べよ。また、課題に対する今後のあり方について、あなたの意見を述べよ。
平成22年度	I-2-4 環境負荷の軽減を目的とした舗装技術の開発が近年進められていることを受け、以下の問いに答えよ。 (1) 近年開発が進められている舗装技術について、その概要、当該技術が抱える課題及びその解決策を述べよ。 (2) 環境に配慮した舗装技術の今後の開発・普及のあり方について、あなたの意見を述べよ。	環境負荷の軽減、舗装技術開発	環境に配慮した舗装技術の見識、舗装技術の開発・普及の提案能力	環境の保全と改善、舗装の新たな機能に関する技術開発	舗装の構造に関する技術基準の制定（平成13年6月）、環境改善を目指した舗装技術（2004年度版）、環境に配慮した舗装技術に関するガイドブック（平成21年6月）	環境負荷の軽減を目的とした舗装技術の開発が近年進められていることを受け、以下の問いに答えよ。 (1) 地球環境対策、都市環境対策、沿道環境対策に関する舗装技術について、その概要をそれぞれ説明せよ。 (2) (1)の舗装技術について、現状と課題を述べよ。 (3) (2)の課題に対する解決策について、あなたの意見を述べよ。